

【保全推進度クラス分け（案）】

■ 「○、△、×」について

・ 保全性

○ = 希少種を含め生物の種類が豊富である

△ = 希少種が数種類見受けられる

× = 全体的に生息している種類数が少ない

・ 担保性

○ = 保全に取り組む上で、持続性が高い（市が所管している等）

△ = // 持続性が曖昧（私有地である等）

× = 環境保全以外の目的の優先度が高い

・ 制約度

○ = 保全が柔軟に取り組める

△ = 保全に取り組む上で、所管している組織との協議が必要等

× = 環境保全以外の目的の優先度が高い

地区・拠点名称	保全性	担保性	制約度	クラス
市野谷の森				A
市野谷水鳥の池				A
西初石小鳥の森				A
稲荷神社裏の谷津（大畔の森）				A
利根運河				A
理窓会記念自然公園				A
総合運動公園周辺				A
大堀川				B
西深井北西部				B
熊野神社周辺の森				B
みやその野鳥の池				C
坂川				C
野々下水辺公園周辺				C

※重点地区・拠点ではないが、モニタリング調査地に指定されている「芝崎小鳥の森」「にしひらい水鳥の池」は、Cクラスとして扱うこととする。